

芳賀赤十字病院だより

ハートクロス
HEART CROSS



特集 周産期母子
医療センター紹介

テント診療所内での診療の様子

■ 初期臨床研修医・歯科研修医～研修を終えて～

～地域とつながる～
登録医情報

- ささき耳鼻咽喉科クリニック(真岡市)
- 今井歯科医院(芳賀町)

■ Information

- 令和6年能登半島地震 芳賀赤十字病院の活動について

芳賀赤十字病院だより「HEART CROSS」を今年度からリニューアルしました！

特集

周産期母子医療センター

周産期母子医療センターは、常時母体・新生児搬送受入体制を有し、母体の救命救急への対応、ハイリスク妊娠に対する医療、高度な新生児医療等を担っています。当院は地域周産期母子医療センターと認定されており、県内の両大病院に設置されている総合周産期母子医療センターと協力してハイリスク周産期医療にかかわっています。

産婦人科の体制

産科部門は、病床数は16床で、NICU・GCUとともに3階西病棟に位置し、緊急時には同じフロアの手術室へ最短時間で移動できるように設置されています。

お産は、順調に進んでいても、胎児が低酸素状態になったり、胎児の頭の向きが通常ではなくなって分娩が停止したりなど、急変がいつでも起こる可能性があります。そんな急変にも24時間体制で対応いたします。合併症妊娠や胎児発育に問題があるような場合には、あらかじめ小児科医への連絡をとり、小児科医師の立ち会い分娩を行っています。24時間小児科医が病院に常勤し、緊急時の立ち会い分娩も可能です。



産婦人科と小児科の連携



問題のない分娩と考えていた場合でも、出生後呼吸が苦しくなったり、上手に哺乳できないことがあります。当院では、出生後母体の負担を減らす目的もあり、一時的にGCUでの観察を行います。分娩前に胎児に問題がある場合（母体内で苦しくなる。週数が早く生まれる。）は、事前に産婦人科から連絡があり、分娩室または手術室での分娩に小児

助産師からのメッセージ

助産師は、妊婦さんが安心して赤ちゃんを迎えられるよう、健診やマタニティセミナー開催をしています。また、安全に出産できるお手伝いをし、ママとご家族が自信を持って育児できるよう支援しています。私たちは妊産婦のトータルサポーターなのです。退院後もおっぱい外来や産後ケアを通して寄り添っていきます。地域の小中高校では思春期教室を開催し、私たちだから語れる「命の大切さ」を伝えています。



当院で出産された方の体験談



今回、約5年ぶりの妊娠&出産で、予定日が近づくにつれて不安と緊張の日々を過ごしていました。いざ入院となり出産までの間、助産師や看護師に励まされながら、無事に出産を乗り越えることができました。家族が立ち会ってくれましたが、やはり力になるのはスタッフの皆さんの声掛けでした。大変感謝しています。産後も授乳のことで悩みましたが、授乳方法の指導やアドバイスをいただき、親身に相談に乗ってくださいました。また、産後のお祝い食も入院中の楽しみであり、育児を頑張る原動力になりました。

妊娠中

出産

産婦人科

渡辺 尚 副院長兼産婦人科主任部長(周産期母子医療センター長)

当院では、妊娠初期から分娩、産褥まで医師、助産師、その他専門のスタッフが心をこめたケアをさせていただきます。里帰り分娩も大歓迎です。私たちスタッフは、常に“安全なお産”を目指すとともに、新しい生命の誕生にめぐり逢う感動をかけがえのないものとし、また、女性が生涯にわたって心

身共に健やかでありますようにと、最新鋭の超音波断層診断装置や分娩監視装置などを備えるとともに、日頃より新しい医療技術の導入に積極的に努めています。そして、日夜研鑽を積んだスタッフが、あなたの期待に応えるべく最善の努力を重ね、新しい生命の誕生をお手伝い致します。



小児科の体制

NICU（新生児集中治療室）6床、GCU（新生児回復室）6床で対応しています。NICUでは、主に状態が不安定な新生児のケアを行うため、あらゆる医療機器（重症な呼吸障害に対応できる高頻度振動換気が行える人工呼吸器を準備しました。）を備え、看護配置も強化されています。GCUとは新生児回復室のことで、NICUで治療を受けたあとに、状態が安定した新生児を受け入れる部署です。「回復治療室」や「移行期治療室」とも呼ばれています。急性期を脱した新生児は、継続治療に移行し、退院に向けての準備をします。



科が関わります。必要があれば、直ちに処置を行います。これらの連携は産婦人科と小児科が密接に関わることが大切です。当院では適切に対応できるよう、連絡票による情報共有を行っていますが、一番有効なのは産婦人科医から小児科医へのささやきです。お互いのコミュニケーションがうまくいっていると感



看護師からのメッセージ

NICU・GCUは、予定より早く生まれた赤ちゃんや小さく生まれた赤ちゃん、呼吸が上手にできない赤ちゃんなどが入院する病棟です。24時間、看護師がケアにあたっています。出産後の環境に慣れ症状が良くなってくると、お母さんやお父さんが育児練習を始めることができます。赤ちゃんのご家族の育児に対する思いを尊重した、育児を提案させていただいています。

当院で出産された方の体験談



出産直後より赤ちゃんはNICUへ入院することになり大変お世話になりました。出産後赤ちゃんを抱くことができず、医師から呼吸障害の可能性があると告げられ不安が大きくなりました。面会に行きわが子の姿をみて可愛く愛おしいと思っていましたが、自分が苦しめてしまっていないかと葛藤していました。ですが、毎日面会に通いわが子の様子を見て、医師やNICUの看護師が日々の様子を丁寧に説明していただき、また話を聞いていただけのおかげで不安が軽減されました。現在は状態も改善し退院することができ、わが子と幸せな時間を過ごしているのもNICUスタッフのおかげです。



産後

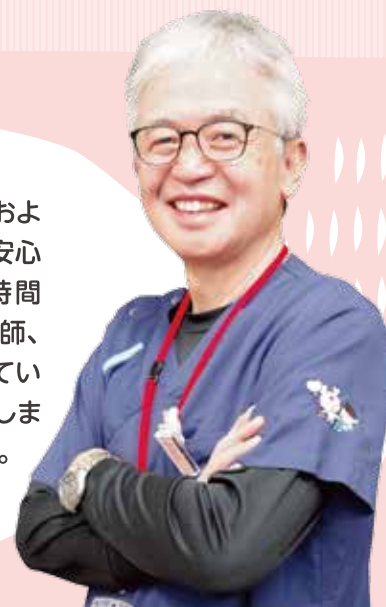


小児科

菊池 豊 院長補佐兼小児科主任部長

元気に赤ちゃんが育っていくためには、出生時に予測できない新生児仮死（うまく呼吸ができない新生児）に速やかに対応し、赤ちゃんに障害を残さない事が大切です。そこに与えられた時間は数分間という短い時間です。そのため当院では、周産期に関わる医師、助産師、看護師に周産期新生児

医学会による新生児蘇生法の受講および資格取得を義務づけています。安心した分娩を提供できるよう、24時間365日体制で小児科医師、助産師、看護師が対応できる体制を準備しています。赤ちゃんの一生が決まってしまうその瞬間に全力を尽くしています。



令和6年3月18日（月）、令和5年度の初期臨床研修医、及び歯科研修医の修了式が行われました。芳賀赤十字病院では、毎年、初期臨床研修医と歯科研修医を受け入れており少人数で充実した研修を行っています。今年度は高木 敬史、山口光崇、田島 舞子、百目鬼 望、福田 暁子、田口 裕基の6名の研修医が修了式を迎えました。当院で研修を終えた感想と新研修医への一言を掲載します。



① 2年間在籍した感想

② 新研修医に一言

高木 敬史 先生

① 診療科の垣根を越え、数多くの手技や患者さんの担当をさせて頂き、指導医に時間を頂いてじっくり教えて頂ける環境はとても貴重でした。関わって頂いた全ての医療従事者の方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

② 与えて頂いた貴重な環境で、自分の頑張りが次第でもさらに充実した研修生活が送れるので、できる限り多くのものを経験してみてください。心身共に健康で、そしてより良い研修生活を送れることを願っています！

田島 舞子 先生

① 研修医のためと時間を割いて様々なことをご指導いただき、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。医師としてどうあるべきか、多くの方から学んだ2年間でした。また芳賀日赤に勤務することがありましたら、どうぞよろしく願いいたします。

② 全国の病院から芳賀赤十字病院を選んでくれてありがとうございます！将来何科に進もうと、初期研修での経験はいつかどこかで自分を助けてくれるはずですよ。また、今しかできないこともたくさんあります。失敗を恐れず、何事にもチャレンジして充実した研修にしてください。

福田 暁子 先生

① 芳賀日赤での研修は先生方を始めとして、コメディカルや職員の皆様、そして患者様から多くを学び育てていただいた2年間でした。暖かい環境で非常に様々な経験をできた何ものにも代え難い時間です。感謝申し上げます。

② 芳賀日赤は皆さんが想像している以上に様々な臨床経験が自由にできる環境です。そしてその背中を押してくれる先生、職員の方々がたくさんいらっしゃいます。是非楽しみながら2年間頑張ってください！

山口 光崇 先生

① 指導医の先生方をはじめとするたくさんの職員の方々、そして地域の患者のみなさまのおかげで密度の濃い研修を送ることができ、充実した2年間でした。振り返ってみて医師としての最初の2年を芳賀日赤を選択して正解だったなと思います。2年間ありがとうございました。

② 国家試験合格おめでとうございます！芳賀日赤はたくさんの疾患、手技を経験することができ、わからないことがあればいつでも周りに頼れる環境が整っています。色々学ぶ姿勢を持って研修し、たくさんのご経験をしてください。

百目鬼 望 先生

① 入職したての頃は慣れない事も多く忙しい日々もありましたが、2年間病院全体で育てて頂きとても充実した研修でした。ここでの経験を活かし、これからも頑張っていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

② 初期研修の2年間、特に初めの頃は環境変化等で疲れたり、座学では習わない物事に遭遇したりで苦労もあると思えます。気負い過ぎず休む時は休み、まずは2年間乗り切れるよう応援しています。皆優しいので、辛い時は周りを頼りましょう。

田口 裕基 先生

① 芳賀赤十字病院の歯科の研修医第1号として研修が始まりました。研修の進め方なども試行錯誤しながらでしたが、周りの方々に恵まれ、口腔外科とは何かを一から学ぶことができました。本当にありがとうございました。

② 見学が主な施設と違い、実際に患者に触れ、手技を多く実践できる施設です。研修開始から2年目なので、システムや研修内容などの変更もあるかと思いますが、臨機応変に対応し口腔外科での研修をより良いものにしてください。

医学生のみなさまへ

芳賀赤十字病院では、将来の卒後研修先を模索する医学生を対象に1年を通じて病院実習（見学）を受け入れています。

病院内の雰囲気や研修医の研修の様子、指導体制、災害拠点病院（DMAT）・赤十字病院としての災害救護活動などを、病院見学することでより理解を深め、魅力を感じていただきたいと思います。

お申込みについては当院のホームページをご覧ください。人事課までご連絡ください。



ささき耳鼻咽喉科クリニック

真岡市

**対象疾患** 耳鼻咽喉科、気管食道領域**医療機関名** ささき耳鼻咽喉科クリニック**院長** 佐々木 邦**住所** 栃木県真岡市上高間木 3-3-7**TEL** 0285-80-8733**診療科目** 耳鼻咽喉科**休診日** 木曜日・日曜日・祝日**得意分野** 鼻アレルギー、副鼻腔炎、中耳炎、めまい疾患

佐々木邦院長よりメッセージ

今年は開院20周年目になります。長かったような、短かったような印象です。今後も患者さんの立場に立った診療をしていきたいと思っております。

当院との連携について

緊急を要する疾患や頭頸部領域の腫瘍性疾患など、いつも快く引き受けていただき大変助かっており心強く思っております。また夜間のめまい疾患、鼻出血など救急外来で他科の先生方に対応していただき感謝しております。当院でもできることは可能な限り頑張りたいと思いますので、今後ともよろしく願います。

地域の方々へ

コロナ禍をきっかけに発熱外来、オンライン診療なども行っております。県東地区の皆様健康維持に貢献できるよう頑張っております。耳鼻科領域の病気について心配なことがあれば些細な事でも構いませんのでお気軽にご相談ください。

今井純人院長よりメッセージ

父の代から60数年、地域密着診療を行っております。

当院との連携について

毎回紹介患者さまを快く受け入れていただき大変ありがたく思っております。これからもよろしく願います。

地域の方々へ

患者さまに、わかりやすい説明・様々な面で負担をかけない治療を第一に心がけて行っています。

今井歯科医院

芳賀町

**対象疾患** 一般歯科、小児歯科**医療機関名** 医療法人 邦純会 今井歯科医院**院長** 今井 純人**住所** 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井 509-4**TEL** 028-677-0118**診療科目** 一般歯科、小児歯科**休診日** 水曜日、日曜日、祝日(祝日がある週の水曜日は診療)**得意分野** 歯周病

地域の先生方は、地域の患者さんの医療を支える大切なパートナー。地域医療を支えてくれる医療機関の方々がいるからこそ、今号は、ささき耳鼻咽喉科クリニック(真岡市)と今井歯科医院(芳賀町)をご紹介します。

令和6年1月1日(月)16時10分頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。1月5日(金)、栃木県医療政策課からDMATの派遣要請があり、1月5日(金)の夜、当院よりDMAT(医師1名、看護師2名、業務調整員2名)が石川県穴水町に向けて出発しました。また、1月7日(日)に石川県珠洲市において医療救護活動及び被災者支援を行うため、芳賀日赤救護班(医師1名、研修医1名、看護師3名、薬剤師1名、主事2名)が出発しました。その後、2月2日(金)～2月7日(水)、2月22日(木)～2月27日(火)と芳賀日赤救護班の派遣を継続しています。

救護班活動報告

研修医 山口光崇

災害医療を経験して実感したことが大きく2つありました。
 1つ目は、医療者は広い視野を持つ必要があることです。避難所に行くところまで生活している人たちが私達医療者を信頼し、診察に来るのを待ち望んでいる方がたくさんいました。医療者は自分の健康はもちろんのこと、周りの健康にも配慮する必要があることを実感しました。
 2つ目は、今病院で働く環境に医療資源がたくさんあることです。診療をする際は病歴聴取、身体診察、血液検査、画像検査など諸々の検査を踏まえて病気の診断・治療をしています。しかし避難所などで診察する際には自分が思うような検査、処方ができず、いかに自分が環境に恵まれ、災害時の検査環境などが整わない中での医療の難しさ、普段からの病歴聴取や身体診察の技術向上の重要性を感じました。
 院内では経験できない医療を知ることができ貴重な1週間でした。



看護師長 長谷部明子

1/1 夕方、数年ぶりの家族団らん中の地震はすぐに甚大な被害から早急な救護の必要性がわかり、ころころ落ち着かなくなっていました。救護訓練は受けていても、出動は特別です。被災1週間後の現地は混乱もありましたが、日本赤十字社の同じ救護服を見かけ安心感と使命感がわき、救護班員を信頼し協力して10名で頑張ることができました。数か所の避難所の環境状況の確認、被災者の健康確認や助言、診療の補助など医師と薬剤師と主事と情報の共有をして、明日につなげる活動をしました。被災者の大きな不安を抱えるころころの声に対しては今後も支援をつなげていく必要があります。病院職員への感謝とともに自身ができることを行っていくと思います。

診療放射線技師 森戸洋介

石川県災害救護活動では被災者の健康を少しでも守れるような協力と行動が求められました。救護班のそれぞれの連携、迅速な行動により、被災者に少しでも医療を提供できたことは貴重な経験となりました。災害現場では非常に困難な状況でしたが、第三班のメンバーと協力し乗り越えられた経験を日々の業務に活かしていきたいように今後も努力していきたいと思っています。

DMAT活動報告

医師 塩澤徹也

当院DMATは能登半島の拠点の一つである穴水総合病院の病院支援指揮所リーダーとして、他県DMAT約10隊と共に活動しました。主な活動内容は穴水総合病院機能維持のための救急外来支援、病床調整、搬送調整でしたが、穴水地区の保健医療福祉調整本部の設置にも携わりました。患者搬送に往復で半日以上かかるなど、これまでの災害以上に急性期の搬送が困難だった印象でした。

またDMATは災害急性期の活動が主でしたが、能登半島地震では2月までDMATが継続支援を行っている点からも、被害の甚大さや特殊性が感じられました。

出動にあたり勤務調整含め後方支援を行ってくださった当院職員の皆様へ感謝いたします。

また被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。



芳賀赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

〒321-4308 栃木県真岡市中郷271
 TEL 0285-82-2195(代表)
 FAX 0285-84-3332
 公式HP <https://www.haga.jrc.or.jp/>
 編集協力 伴印刷株式会社

芳賀赤十字病院理念

地域に貢献する病院

基本方針

- 1.患者中心の医療
- 2.安全で質の高い医療
- 3.赤十字の使命に基づいた社会貢献
- 4.救急医療の充実

- 5.チーム医療の推進
- 6.適切な組織運営
- 7.経営・施設設備管理
- 8.DX(デジタル変革)の推進

4月から変更になりました

